

速報

【URL】<http://www.bousai-cafe.jp>

【発行元】ほうさいカフェ事務局

第2号

え方をするか」「他の人はどのような行動や考え方をするのか」ということを、過去の事例を交えながら楽しく話しい、防災への理解を深めました。

九月十六日、東京都練馬区防災センターにて、『ほうさいカフエ』を開催。気軽な雰囲気の中、防災について興味を持っていたことができました。



速報
遊びながら防災について
話しました

ゲーム考案者のお一人でもある慶応義塾大学商学部准教授の吉川肇子先生が、参加者の緊張をほぐしながら分かりやすくゲームを解説。災害に直面したときに、何が問題になり、人々はどうのような行動を取ったかということを説明しながら、災害時への備えや対応をみんなで考えることができました。



ゲーム形式だから
自分と異なる意見を
素直に楽しく吸収



カードゲーム『クロスロード』とは、たとえば「避難所にペットを連れて行く?」といった多くの人が直面する問題について、「Yes」か「No」のカードで答えるゲームです。ゲームの勝敗は、回答の多い方が勝ちとなりますが、たった一人だけの答えの場合も勝ちとなります。みんな、人の答えを想像しながら一喜一憂。ゲームだから「そんな考えもあったんだ」と、自分とは異なる意見にも素直に耳を傾けることができた。



家族全員で参加されていたテーブルでは、子どもならではの意見も飛びだし、防災の議論がさらに活発化しました。

今回の『ほうさいカ
フェ』では、練馬区観光協
会のご好意で練馬区の特
選銘菓『ねりまの名品21』
をゲームのチップ代わり
にしました。地元特産品
の美味しさに思わず笑み
がこぼれていました。



あの銘菓が景品に？
練馬区の特産品を
いただきました



反響、続々！
家族や職場の仲間と
一緒に楽しみたい



『ぼうさいカフェ』終了後に、「親子でやってみたい」「正解をみんなで見つけるゲームだった」「被災してからの様子を想像できた」「人の数だけ意見があると分かった」「自分の準備だけでなく地域の準備も大切」などのたくさんの感想をいただきました。楽しく活発な意見交換から防災意識がさらに高まったようです。

【主催】内閣府・防災推進協議会 【後援】練馬区

【特別協力】 練馬区観光協会、ねりま減災どっとこむ、株式会社レスキューナウ、NPO法人千葉レスキューサポートバイク、FM NACK5